

第110回(平成30年5月度)ウォーキング同好会の報告

隔年で開催している光市の「伊藤公記念公園から東荷神社を周回する自然が豊かで歴史を感じるコース」を天候にも恵まれた5月19日(土)に実施。当日は、公園駐車場を起点に東荷神社方面に向けて出発し、神社では約100段の階段を上り境内に到着。境内で休憩後、地元の小学生に案内されながら、きつねの祠、来迎寺、まほろばの里等を経由し伊藤公生家に到着。その後、公園広場で昼食後、駐車場に戻り解散。今回は田植えが始まっている水田風景と爽やかな風を浴びながらの快適なウォーキングを実施。

※親切な小学生について(出穂農園のHPより)：両親はこの近所にある「出穂農園」で多種イチジクを生産。裏山から取ってくる落葉や地元の海でとれる海藻、貝殻、魚粕など地域の材料を使って自家製肥料を作り本当に自分たちが食べたいと思える農産物を生産。この小学生は地域のことを良く勉強していました。

- 10時00分：伊藤公記念公園駐車場を東荷神社方面に向けて出発。
- 10時30分：東荷神社の鳥居を経由し、100段の階段を上り境内に到着。
- 11時20分：爽やかな田園風景を眺めながら「まほろばの里」に到着。
- 11時50分：伊藤公生家を経由し、公園広場に到着。
- 12時15分：公園広場の東屋地で15分程度の昼食後、出発。
- 12時30分：伊藤公公園駐車場に戻り解散。

(本日の万歩計：10,400歩、参加者：14名)

以上、次回のウォーキングも宜しくお願い致します。

AYSA交流啓発・健康福祉部会

(ウォーキング同好会)世話人：長棟章



悠然天地心



集合場所の風景



ウォーキング中



田園風景



田園風景



東荷神社の鳥居



参加者の皆様



東荷神社の鳥居

参加者の皆様



ウォーキング中



東荷神社の本殿



伊藤公生家



ウォーキング中



幼少の食事風景



地元の児童



地元の児童



来迎寺の鐘



ウォーキング中

＜＜参考＞＞説明看板より

- ・伊藤公生家：天保12年(1841年)9月2日にこの地で生まれた伊藤公は6歳までこの生家で過ごす。
- ・悠然天地心：明治天皇が山口県を訪れた時に随行した伊藤公がその時の思いをしたためた五言絶句の一節。「ゆったりとした天地の心を感じて事にあたりたい」という意味。記念碑は安倍総理がかいた文字。



産湯の水

次回(第111回)のウォーキングは、6月16日(土)に実施予定です